

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドデイケアほわわ名古屋星ヶ丘		
○保護者評価実施期間	2025/1/6 ~		2025/1/17
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025/1/6 ~		2025/1/17
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月28日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご本人の困りごとやご家族からのご相談に、丁寧に対応すること	答えがすぐに出ないことについても、情報収集し、確認しながら解決に向かっていけるように一緒に考えていく。	発達特性に応じた支援の幅を広げていけるよう、研修等で継続的に学び支援者の専門的知識を増やしていく
2	姿勢や遊びの環境支援	ひとりひとりのお子さんに合わせた姿勢やあそびの環境作りを、法人のコンサルや研修等で学びながら実践と検証を継続的に行っている。	支援者が変わっても、事業所として継続して実践を行っているよう、支援者全員で学ぶ機会を継続していく。
3	見通しを持った支援	就園や就学などライフステージの変化や、成長発達に伴う生活リズム等の変更について、見通しを見える化して支援の方向性をご本人・ご家族と確認している	未就学～小学校の年齢層だけでなく、中学生以降の暮らしも見通しを持って支援できるように放課後等デイサービスの支援を充実させていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	土曜日の利用ニーズに対して営業が出来ていない	配置人員の確保が必須だが、採用に繋がっていない。	求人・採用活動について、情報を発信する媒体の検討を求人対象ごとに丁寧に行っていく。 ここで働きたいと思ってもらえるきっかけになるような情報発信を積極的に行っていく。
2	継続的な地域との交流機会が不足している	地域資源の把握や、積極的なアプローチが出来ていない。 体調管理がシビアな利用児もおり、感染等のリスクに気を付けながら交流機会を作る必要がある	地域の中で過ごすという視点を前提に持ち、利用児の個別のニーズに対して地域資源をどう活かせるか整理の上、積極的に交流機会を作っていく。保育園との交流は行っているが不定期なので、継続的なものになるように働きかけていく。
3	自立支援協議会に継続的に参加が出来ていないことで、地域課題の把握や共有が不足している	現場支援等の優先業務と重なり、参加の調整が出来ていない	年間予定を確認し、参加前提のシフト組みを行う。またそれが成立するための業務分担や体制づくりを行う。